

令和5年度

# 特別選抜

(私費外国人留学生入試)

# 学生募集要項

教育学部・工学部・生命環境学部



## 目次

1. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）	1
2. 入学者選抜日程	10
3. 募集人員（入学定員）	11
4. 出願資格	12
5. 出願手続	14
6. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談	18
7. 受験票	18
8. 選抜方法	19
9. 受験上の注意	22
10. 合格者発表	22
11. 入学手続	23
12. 個人情報の取扱い	23
13. 安全保障輸出管理	23
14. 入学試験における感染症対応	24
15. 甲府キャンパス案内図	26

## 募集要項について

今後の新型コロナウイルス感染症拡大状況により、本募集要項の内容とは異なる方法で選抜を実施する場合があります。変更が生じた場合はホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>）に最新の情報を掲載しますので、随時確認してください。

表記一覧表 この募集要項では、以下のとおり略語を使用します。

学部名称	
学部	表記
教育学部（学校教育課程）	教育
医学部	医学
工学部	工学
生命環境学部	生命

選抜名称	
選抜区分	表記
一般選抜 前期日程	前期
一般選抜 後期日程	後期
学校推薦型選抜 I	推 I
学校推薦型選抜 II	推 II
総合型選抜 I	総 I
総合型選抜 II	総 II
私費外国人留学生入試	私費

## 1. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

山梨大学のアドミッションポリシーは、まず、本学が求める人物像と入学者に求める資質能力を示し、学部ごと、および学科・コース等ごとに、育成目標、入学者に求める資質能力・人物像、入学前に学習しておくことが期待される内容、試験区分別の入学者選抜の基本方針を示しています。

そのうち、「育成目標」は、本学のディプロマポリシー（学位授与方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）との一貫性を意識し、入学後にどのような力を発展・向上させるのかを簡潔に示したものです。「入学者に求める資質能力・人物像」には、入学前にどのような多様な能力をどのようにして身に付けてきた学生を求めているか、入学後にどのような能力をどのようにして身に付けられる学生を求めているかなどを示しています。「試験区分別の入学者選抜の基本方針」は、入学者選抜において、アドミッションポリシーを具現化するためにどのような評価方法を多角的に活用するのかなどを説明しています。なお、「入学前に学習しておくことが期待される内容」も学部ごと、および学科・コース等ごとに示していますので、希望する学部、学科・コースに合わせて、高等学校での学習の参考にしてください。

### 理念・目的

豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行います。

### キャッチフレーズ

地域の中核、世界の人材

### 教育目標

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見だし解決に努力する積極性、先見性、創造性に富んだ人材の養成を目指しています。

### 求める人物像

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、その修了に必要な教養、汎用能力、専門能力をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、これらのカリキュラムを知的好奇心をもって継続的・主体的に修得して卒業し、専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつとともに、入学時において以下のような基礎的な資質能力を有する人を求めます。

### 入学者に求める資質能力

高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識を有している人その他、各教育プログラムの学修に必要な資質能力（思考力・判断力・表現力など）を有する人

\*ここでは入学試験で評価できる項目のみが挙げられており、順法精神など、社会通念上大学生が当然備えているべき項目までは記載していません。

---

## (1) 教育学部

### 理念・目的

人間と文化・社会に関する幅広い視野と教養をもち、人間の生涯発達と学習についての専門的な知識を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する人材養成のための教育・研究を目的としています。

### 育成目標

#### 豊かな人間性と教育文化を創造する教員の養成

本学の入学者受け入れ方針に加え、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教員の養成を目指しています。そのために、協働性や生涯にわたる学びへの意欲と能力を育成し、人間・社会・自然等に関する幅広い教養と教育についての高度な実践力と専門性を持った教員を養成する教育・研究を行います。

## 求める資質・能力・人物像

教育学部では教員を目指す強い意志を持った人を求めています。そのために、以下のような資質・能力を持つ人の受験を期待します。

- 子どもの育ちや学校教育について高い関心を持てる人
- 自ら深く学ぶために課題を見出すことができる人
- 課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人
- 多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

## 入学前に学習しておくことが期待される内容

本学部における教育は、高等学校等で修得する各科目に関して基礎的な学力を有することを前提に行われます。また、論理的な思考力、自分の考えを適切に表現できる力、コミュニケーション能力、及び各分野への関心や探究心を備えておくことを期待します。各教科・科目においては、広く以下のような内容を心がけて学習しておくことが重要です。

- 国語については、現代文、古文、漢文における基礎的な知識と読解力
- 地理歴史・公民については、履修した各科目における基礎的な知識と社会的思考力
- 数学については、履修した各科目における基礎的な知識と数学的思考力
- 理科については、履修した各科目における基礎的な知識・技能と科学的思考力
- 外国語については、外国語による聞く、読む、話す、書くことに関する基礎的な知識・技能
- 情報については、情報処理または問題解決に関する基礎的な知識・技能
- 家庭については、家庭生活に関する基礎的な知識・技能
- 音楽については、音楽に関する基礎的な知識と表現技能
- 美術については、美術に関する基礎的な知識と造形能力
- 保健体育については、運動と健康に関する基礎的な知識・技能

## 幼小発達教育コース

### 育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間の生涯発達全般を見通しつつ、幼児期から児童期の子どもの発達と教育について他者とともに学び合い、子どもの思いや願いに寄り添ってその育ちを支える教員の養成を目指しています。人間や社会といった広い視野から、子どもの発達や教育を考えることに関心があり、幼稚園や小学校の教員などを目指す学生を求めています。

### 試験区別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 障害児教育コース

### 育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、高度な教職教養や専門教養を通して障害のある子どものことを深く理解した上で、確かな実践的技術を駆使して、かつ同僚と協働して、熱意および探究心をもちながらその子どもに働きかけることのできる教員の養成を目指しています。子どもの心のメカニズムや障害のある子どもが抱える生活上の困難さ、学校教育のあり方などに強い興味や関心があり、特別支援学校や小学校などの教員を目指す学生を求めています。

### 試験区別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 言語教育コース

### 育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間の思考・表現・コミュニケーションの基盤である言語の教育を担う教員の養成を目指しています。1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1年次後期から「国語教育系」「英語教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。「国語教育系」では、日本語、日本文学（古典・近代）、漢文学、書写・書道、国語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の国語科や書道の教員を目指す学生を求めています。「英語教育系」では、英語学、英米文学、英語コミュニケーション、異文化理解、英語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の英語科の教員を目指す学生を求めています。

### 試験区別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 生活社会教育コース

### 育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間生活とその基盤となる人間社会を創造していくための豊かな教養と実践的指導力を持つ教員の養成を目指しています。1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1年次後期から「社会科教育系」「家政教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。「社会科教育系」では、法学、政治学、社会学、経済学、哲学・倫理学、歴史学、地理学及び社会科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の社会科の教員を目指す学生を求めています。「家政教育系」では、食物学、被服学、住居学、保育学、家庭経営学及び家庭科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の家庭科の教員を目指す学生を求めています。

### 試験区別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 科学教育コース

### 育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、自然科学を理解するための総合的な視野と、理数系の深い専門知識を持った教員の養成を目指しています。1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1年次後期から「数学教育系」「理科教育系」「技術教育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。「数学教育系」では、代数学、幾何学、解析学、確率・統計、数学科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の数学の教員を目指す学生を求めています。「理科教育系」では、物理学、化学、生物学、地学、理科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の理科の教員を目指す学生を求めています。「技術教育系」では、木材加工学、金属加工学、機械工学、電気・電子工学、情報工学、農学、技術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校の技術の教員、高等学校の工業の教員を目指す学生を求めています。

### 試験区別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 芸術身体教育コース

### 育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間の根源的な営みともいえる芸術活動と身体活動を通して、芸術文化あるいは心身の発育・発達に関する内容を学びながら、専門的かつ実践的な能力を持った教員の養成を目指しています。1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1年次後期から「音楽教育系」「美術教育系」「保健体育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。「音楽教育系」では、声楽、器楽、作曲・編曲、音楽学、音楽科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の音楽の教員を目指す学生を求めています。「美術教育系」では、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史、美術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の美術の教員を目指す学生を求めています。「保健体育系」では、体育実技（体操、陸上、球技、水泳など）、体育理論、保健、保健体育科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の保健体育の教員を目指す学生を求めています。

### 試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験、実技検査及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## (2) 工学部

### 理念・目的

広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成する教育・研究を行います。

### 育成目標

#### 未来世代を思いやるエンジニアリング教育

本学の入学者受け入れ方針に加え、基礎的・専門的学力、論理的な表現力やコミュニケーション能力を修得するとともに、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけたグローバルに活躍できる人材の養成を目指しています。

### 求める資質・能力・人物像

工学部では、工学系技術者となって社会に貢献しようとする意欲をもつ、次のような人を求めています。

- 4年間学び抜くことができる学力と強い意志を有していること
- 各学科で学ぶ内容に強い興味と適性を有していること
- 学科別に提示する数学、理科の基礎力を有していること
- 国語、地歴公民など高校で履修する幅広い科目により人間や社会に関する基礎的な知識や興味を有すること
- 書かれた文章を理解し、利用できること。また、学んだことや自らの考えを論理的な文章で表現できること
- 国際的なコミュニケーション能力の基本として基礎的な英語の語学力を有し、入学後も積極的に学ぶ意欲を有すること
- 実験や観察の計画や実行に積極的に取り組んだ経験があること

## 機械工学科

### 育成目標と求める能力・人物像

人間と機械との結びつきを理解し、自然保護と社会の繁栄さらに人類の幸福に貢献できる技術者の育成を目指しています。具体的には数学・物理などの数理知識を自動車・航空・宇宙産業や医工学分野さらに動力エネルギー分野などへ応用する技術を習得します。そのために次のような人を求めています。

- 数学・理科・英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科の中では特に物理を重視します。
- 実験などを通して身の周りの自然現象の観察に興味のある人
- 人と機械とが関わるものづくりに興味のある人
- 独創的な発想で機械の技術革新をしようとする人

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で履修した科目、とりわけ数学、物理、英語をしっかりと理解していることが必要です。機械工学は物理を基礎として、また数学を駆使して構築されている工学分野です。数学、物理の本質を理解するとともに、また、国際的に活躍できる人材となるために不可欠な英語の素養も身につけてくることを期待しています。

### 試験区別の入学者選抜の基本方針

**私費外国人留学生入試**では、日本留学試験と面接試験を課すことで、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力、また、本学科に対する十分な関心と学ぶ意欲、日本語によるコミュニケーション能力を評価します。これに加えて、出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績の中で数学・理科・英語の基礎学力を総合して判定し、合格者を決定します。

## メカトロニクス工学科

### 育成目標と求める能力・人物像

産業・民生用ロボットなど近年の電子機械製品は機械・電気・情報の3分野の技術の融合体であり、いずれの技術が欠けても成り立ちません。本学科では、これら3分野にまたがる知識や技術を利用して、社会で求められている電子機械製品の開発などの実践的な課題を解決できる技術者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- コンピュータで制御された電子機械製品の研究や開発をはじめとした幅広い分野に興味を持ち、社会で求められている技術や製品の実現に意欲を持っている人。
- 数学、理科、英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分理解していることが必要です。またメカトロニクス工学科は、電気・情報・機械の幅広い分野に関連しています。従って、分野を問わず最先端技術に興味を持つと共に、その基礎となる物理、数学などの本質を理解するようにしてください。

### 試験区別の入学者選抜の基本方針

**私費外国人留学生入試**では、日本留学試験と面接試験を課すことで、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力、また、本学科に対する十分な関心と学ぶ意欲、日本語によるコミュニケーション能力を評価します。これに加えて、出身学校長が発行した成績証明書、日本留学試験の成績、TOEFL 又は TOEIC の成績の中で数学・理科（特に物理）・英語の基礎学力を総合して判定し、合格者を決定します。

## 電気電子工学科

### 育成目標と求める能力・人物像

電気電子工学は材料・素子から、素子を組み合わせた回路、複数の回路を結合した装置、装置やソフトウェアを統合したシステムに至るまで、様々な対象を取り扱う幅広い学問分野であり、その成果はほぼ全ての社会基盤に必要とされています。本学科は、電気電子工学を駆使して社会で活躍する技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 電気電子工学に強い興味と関心を持ち、将来は、太陽光発電を含む発電システム、スマートフォンなどの ICT 機器・通信システム、医療機器、自動運転車や電気自動車などの交通システム、鉄道などの社会インフラ、またこれら全てを支える大規模集積回路の研究、設計、整備、運用など、様々な分野と立場で活躍する意欲をもつ人
- 数学、理科、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で履修した数学、理科、英語、国語、地歴公民で学習した内容がしっかり理解できていることを望んでいます。特に、物理と数学の本質を理解するとともに、電気、磁気、光、電子に関する物理現象に興味を持って勉強してきてください。

## 試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、日本留学試験と面接試験を課すことで、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力、また、本学科に対する十分な関心と学ぶ意欲、日本語によるコミュニケーション能力を評価します。これに加えて、出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績の中で数学・理科（特に物理）・英語の基礎学力を総合して判定し、合格者を決定します。

### コンピュータ理工学科

#### 育成目標と求める能力・人物像

コンピュータ理工学を学んだ技術者は、スマートフォンなどの情報機器やネットワークシステム、ソフトウェアの開発・運用管理、情報通信系のサービス、自動車や電機などの製造業などで活躍しています。また、人工知能技術を駆使したデータ解析の技術者は、いまや情報分野に限らず幅広い分野で必要不可欠な人材です。本学科は、そのような幅広い分野で活躍できる技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 情報科学技術や大規模ソフトウェアの設計開発、ものづくりに対する強い好奇心をもち、将来、専門知識・技術を備えた情報処理技術者・研究者になりグローバルに活躍することを目指している人
- 数学、理科、国語及び英語の基礎的な学力を有する人

#### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。コンピュータ理工学は、情報化社会の基盤と密接に関連しています。したがって、情報システムや機器の設計・解析手法を学ぶための理工系の素養の他に、国内外の文化や慣習、社会情勢などに対する知識や理解とともに日本語や英語によるコミュニケーション能力を備えていることを期待しています。

## 試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、日本留学試験を課すことで、日本の大学等で必要とする日本語力及び数学・理科の基礎学力を評価します。また、TOEFL 又は TOEIC の成績から、英語の基礎学力を評価します。これらと出身学校長が発行した成績証明書を総合して判定し、合格者を決定します。

### 土木環境工学科

#### 育成目標と求める能力・人物像

土木環境工学系の技術者は、国土交通省をはじめとする国家公務員、都道府県、市町村の地方公務員、総合建設業の技術者、設計コンサルタントとして、社会資本の整備や維持管理に携わっています。また、同技術者には道路、運輸等の公共企業、電力、ガス、通信等の公益企業、環境衛生エンジニアリング、住宅建設と、幅広い活躍の場があります。本学科では、このような分野で活躍する「土木工学と環境工学に関する幅広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に意欲的に貢献できる技術者」の育成を目指しています。そのために、以下のような人を求めています。

- 自然環境と調和した社会基盤整備の知識・技術を修得し、災害に強く、環境に配慮した安全で快適な地域づくり・まちづくりに携わりたい人
- 防災・減災、都市環境、社会資本の維持管理など、土木環境工学の最先端について学びたいという意思のある人

#### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。土木環境工学は自然や社会との接点が大い分野です。解析や設計に直接通じる数学や物理の学力だけでなく理科全般の素養と、自分の言葉で社会とコミュニケーションするために、国語、英語、地歴公民の素養を身につけていることを期待しています。

## 試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、日本留学試験と面接試験を課すことで、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力、また、本学科に対する十分な関心と学ぶ意欲、日本語によるコミュニケーション能力を評価します。これに加えて、出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績の中で数学・理科（特に物理）・英語の基礎学力を総合して判定し、合格者を決定します。

## 応用化学科

### 育成目標と求める能力・人物像

応用化学を学修した卒業生は、材料・化学メーカー、エネルギー関連、電気・電子、機械、自動車、製薬、食品、化粧品、装置製造産業、環境分析など様々な分野における新規材料開発および計測などに携わることができます。本学科では、化学の専門知識と実験技術を修得し、新素材・エネルギー・環境等の課題を解決できる技術者・研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 化学に対する強い好奇心をもち、新素材・高機能物質の開発やエネルギー・環境等の問題解決に意欲のある人
- 化学、物理、数学、英語の基礎的な学力を有する人

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解しておく必要があります。化学はもちろんのこと、数学や物理の基礎学力は実験結果の解析に必要となります。また、外国の専門誌を読んだり、レポートを作成したりするためには、英語や国語の力が必要です。化学だけでなく化学以外の科目やそれらと化学との境界領域にも興味をもって勉強しておくことを期待します。

### 試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、日本留学試験の成績に加え、面接を課すことで、本学科での学修に必要な日本語力及び数学・理科（物理・化学）の基礎学力、また、本学科に対する十分な関心と学ぶ意欲、日本語によるコミュニケーション能力を評価します。これに加えて、出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績から基礎学力を総合して判定し、合格者を決定します。

## 先端材料理工学科

### 育成目標と求める能力・人物像

材料科学は、原子・分子レベルの操作で新材料を創り、新たな機能を生み出すことを目的とした学問であり、科学技術、社会が変化しても持続的な就業能力を持った人材の育成を目指しています。そのために次のような人を求めています。

- 物理と化学の知識を合わせ持ち、原子・分子レベルの操作で先端材料を作り、新機能を生み出すことによって新しい社会を築いていこうとする意欲ある人
- 数学・理科に関する諸々の話題、疑問点を追究する強い好奇心を持ち、それを生かした社会貢献に意欲的な人

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学そして物理と化学を理解していること、それ以前にそれらが好きであることが重要です。研究論文や技術報告書を読む、あるいは自ら執筆するためには英語や国語の力、特に論理を組み立てていく能力も必要です。入学時にこれらをすべて備えていることを必ずしも要求しませんが、将来の自分のために投資しておくという基本的学習習慣だけは必ず身につけておくことを期待します。

### 試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、日本留学試験と面接試験を課すことで、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力、また、本学科に対する十分な関心と学ぶ意欲、日本語によるコミュニケーション能力を評価します。これに加えて、出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績の中で数学・理科（特に物理・化学）・英語の基礎学力を総合して判定し、合格者を決定します。

## (3) 生命環境学部

### 理念・目的

自然と社会の共生科学に基づき、広い視野と深い専門知識を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄を担う人材を養成する教育・研究を行います。

## 育成目標

### 自然と社会の共生科学の創生

本学の入学者受け入れ方針に加え、自然と社会の共生科学に基づき、広範な知識を統合し、問題を発見し解決する能力を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、文理融合の視点から生命・食・環境・経営などの諸課題を多角的に分析し、その解決に向けて実践的に取り組むことのできる教育・研究を行います。

### 求める資質・能力・人物像

生命環境学部では、「自然と社会の共生科学の創生」を目指し、次のような資質と能力を持つ人を求めています。

- 高等学校で履修する各教科・科目をまんべんなく学修し、基礎知識を身につけていること
- 自然環境の成り立ちや生物の多様性などを理解するために、理科（物理、化学、生物、地学）や数学、情報など、自然科学や数理科学の基礎学力を身につけていること
- 社会の特質や人間としての在り方などについて理解するために、社会科学の基礎となる社会（地理、歴史、公民）の基礎学力を身につけていること
- 文章を読解したり自らの考えを論理的な文章で表現したりするために、国語の基礎学力を身につけていること
- グローバルな問題に取り組むために、必要な基礎的な外国語の能力を有すること
- 実験やフィールド調査を自主的かつ継続的に取り組むことのできる行動力を有すること
- 教員や先輩、友人、留学生等と積極的に対話できるコミュニケーション力を有すること

## 生命工学科

### 育成目標と求める能力・人物像

バイオインフォマティクス、ナノバイオテクノロジー、ゲノミクスをはじめとする先端バイオを学ぶことにより、食品生産、健康増進、再生医学、バイオエネルギー、環境保全などに関する新しい技術を創出する能力を身につけ、各分野の技術者や研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識を有していること
- 論理的思考力を養うため、数学の素養を身につけていること
- 入学試験で課している科目について、十分な学力を有していること

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識が必要です。論理的思考力を養うため、数学の素養も期待しています。

### 試験区分別の入学者選抜の基本方針

**私費外国人留学生入試**では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 地域食物科学科

### 育成目標と求める能力・人物像

果樹や野菜などの農作物の栽培、食品やワインの製造、及びその栄養・有用成分の機能と利用などに関する食物科学や農学の知識・技術を習得し、食料問題の解決に生かせる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 本学科の教育研究の内容を理解するための基礎となる授業科目（生物、化学、物理学、数学等）を十分に理解できていること
- 自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけていること
- 食料生産・利用あるいはワイン製造に関する問題解決に向けて、主体的に粘り強く自己研鑽につとめる熱意と実行力があること
- 本学科で学んだことを活かして地域社会で活躍したいという目的意識と向上心があること

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

食物生産あるいはワイン製造に関する課題を解決するためには、原料の生産・加工・利用等を含む総合的な知識が必要です。したがって、高等学校で学ぶ化学・生物などの理科科目を十分に理解できていることを望んでいます。また、自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけておくことを期待しています。

### 試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 環境科学科

### 育成目標と求める能力・人物像

生物資源の持続的な生産を支える土壌、水、大気や生態系に関する専門知識を学ぶことによって、自然環境と共生する持続可能な社会の創生に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 自然環境の成り立ちを理解するために必要な理科（物理、化学、生物、地学）の基礎学力を備えていること
- 論理的な思考を行う上で必要な数学の基礎学力を備えていること
- 他者とのコミュニケーションや自身の考えを的確に伝えるために必要な国語や外国語の素養を有していること
- 環境問題を解決するために不可欠な社会系科目（地理歴史や公民）に対する理解があること
- 自然と人間社会との共生に強い関心があり、本学科で学んだことを活かして持続可能な社会の創生に貢献したいという意欲があること

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で履修した数学や情報、物理、化学、生物、地学といった理系科目に加え、自分の言葉で他者とコミュニケーションをとるための国語や外国語の素養が身につけていることを望んでいます。さらに、地理歴史、公民といった社会系科目に対する理解と同時に、環境に対する関心や興味を持っていることを期待しています。

### 試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 地域社会システム学科

### 育成目標と求める能力・人物像

経済・経営・行政に強い関心をもち、経済・経営・政策に関する社会科学および数学的な見方や考え方を学び、国際的視野をもって、観光や食をはじめとする産業創造等を通し地域社会の持続的な発展に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 普段から新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題に強い関心を持っている人
- さまざまな学問分野の成果を自ら取り込む真摯な姿勢とこれをさまざまな場面で生かす能力がある人
- 科学的知見に基づき地域社会の繁栄の実現に貢献できる人

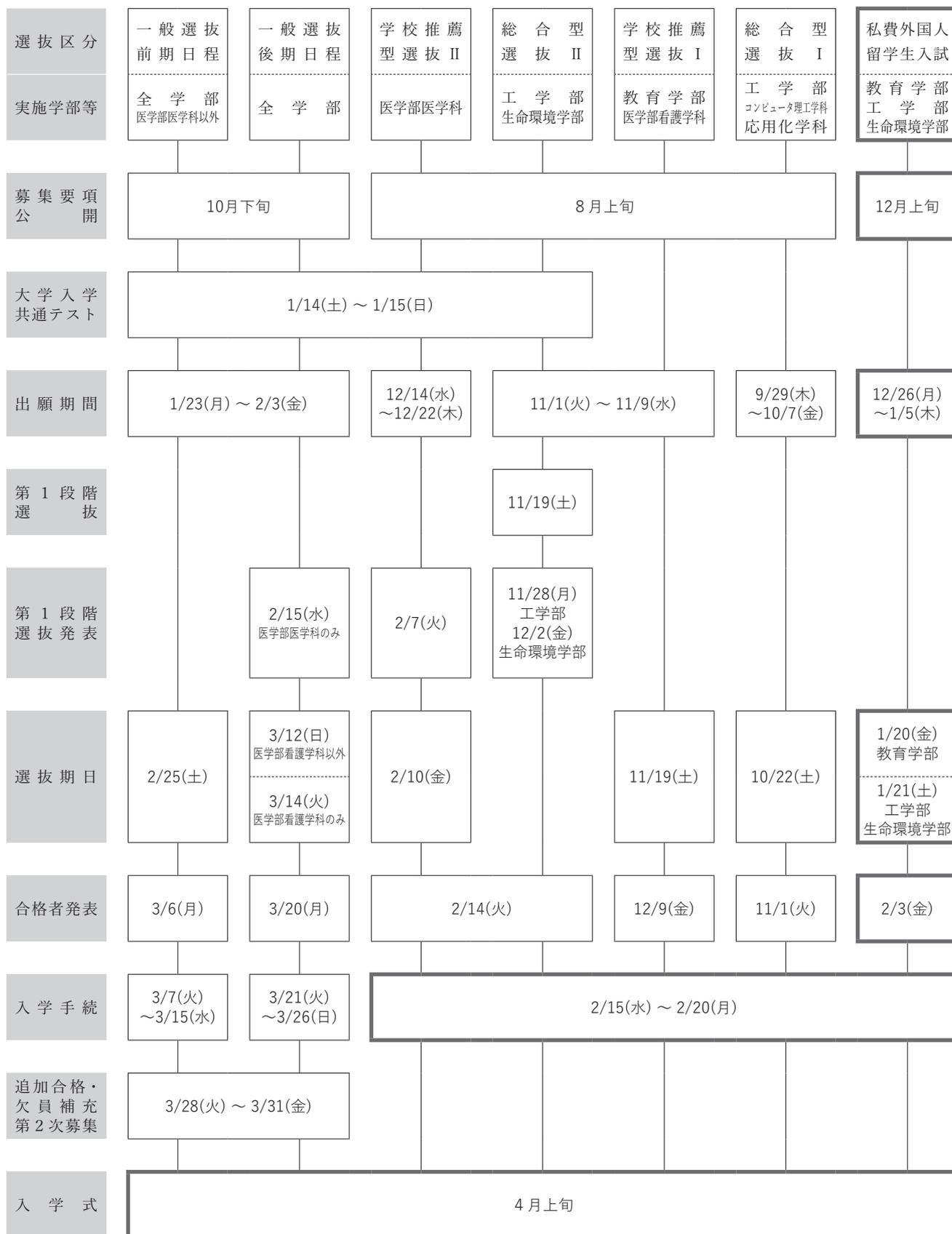
### 入学前に学習しておくことが期待される内容

日常的に新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題へ関心を寄せる習慣を身につけておくことを期待しています。

### 試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 2. 入学者選抜日程



## 3. 募集人員（入学定員）

学部	課程・学科・コース・系		入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜						総合型選抜		私費	合計	
				前期	後期	I	I (A)	I (B)	I (C)	II	I	II				
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース	120	8	3	-	2	-	-	-	-	-	-	若干	13	
		障害児教育コース		10	4	-	4	-	-	-	-	-	-	若干	18	
		言語教育コース		国語教育系	7	2	-	2	-	-	-	-	-	-	若干	13
				英語教育系			-	2	-	-	-	-	-			
		生活社会教育コース		社会科教育系	11	3	-	2	-	-	-	-	-	-	若干	20
				家政教育系			-	3	1	-	-	-	-			
		科学教育コース		数学教育系	14	4	-	2	-	-	-	-	-	-	若干	26
				理科教育系			-	2	-	-	-	-	-			
				技術教育系			-	3	1	-	-	-	-			
		芸術身体教育コース		音楽教育系	6	4	-	2	-	-	-	-	-	-	若干	18
美術教育系	-		2	-			-	-	-	-						
保健体育系	-		4	-			-	-	-	-	-					
山梨県小学校教員養成特別教育プログラム		-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	12			
計		120	56	20	-	30	2	12	-	-	-	若干	120			
医学部	医学科	125	-	90	-	-	-	-	35以内	-	-	-	125			
	看護学科	60	30	5	25	-	-	-	-	-	-	-	60			
	計	185	30	95	25	-	-	-	35以内	-	-	-	185			
工学部	機械工学科	55	40	8	-	-	-	-	-	-	7	若干	55			
	メカトロニクス工学科	55	39	7	-	-	-	-	-	-	9	若干	55			
	電気電子工学科	55	41	5	-	-	-	-	-	-	9	若干	55			
	コンピュータ理工学科	55	30	5	-	-	-	-	-	8	12	若干	55			
	土木環境工学科	55	39	7	-	-	-	-	-	-	9	若干	55			
	応用化学科	55	26	5	-	-	-	-	-	12	12	若干	55			
	先端材料理工学科	35	27	6	-	-	-	-	-	-	2	若干	35			
	計	365	242	43	-	-	-	-	-	20	60	若干	365			
生命環境学部	生命工学科	40	32	5	-	-	-	-	-	-	3	若干	40			
	地域食物科学科	37	30	5	-	-	-	-	-	-	2	若干	37			
		ワイン科学特別コース	(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)			
	環境科学科	30	22	5	-	-	-	-	-	-	3	若干	30			
	地域社会システム学科	48	40	5	-	-	-	-	-	-	3	若干	48			
		観光政策科学特別コース	(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)			
計	155	124	20	-	-	-	-	-	-	11	若干	155				
合計			825	452	178	25	30	2	12	35以内	20	71	若干	825		

- 各選抜方法による合格者数が募集人員から増減することがあります。最終的に入学定員を確保する方向で調整します。
- 教育学部の学校推薦型選抜Ⅰは、Ⅰ(A)教科別推薦入試、Ⅰ(B)専門・総合学科推薦入試、Ⅰ(C)山梨県の小学校教員志望者推薦入試の3つに区分して実施します。
- 生命環境学部の特別コースの人員について、ワイン科学特別コースは地域食物科学科、観光政策科学特別コースは地域社会システム学科の募集人員に含まれ、内訳は目安です。

## 4. 出願資格

- 日本留学試験のうち、本学が指定する教科・科目を受験していない方は出願を受理することはできません。必ず「日本留学試験 本学が指定する科目・得点」(13頁)を確認してください。
- 出願できるのは、1学科・コースのみです。

次の各号の全てに該当する方又は【2023年3月31日】までに該当する見込みの方

- (1) 日本国籍を有さない(日本国の永住許可を得ていない)方
- (2) 出入国管理及び難民認定法に定める「留学」の在留資格を有する方  
\*留学以外の在留資格を有する方は、入学手続後ただちに「留学」の在留資格に変更手続を行うこと
- (3) 日本学生支援機構が2022年6月又は11月に実施する2022年度日本留学試験(第1回又は第2回)のうち、本学が指定する科目を受験し、本学が指定する得点\*を満たしている方  
\*13頁に記載
- (4) 2021年1月以降にTOEFL又はTOEICを受験している方
- (5) 次の各項目のいずれかに該当する方
  - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣が指定した方(12年に日本の学校教育制度における修学期間を含む場合は、その期間が通算3年以内であること)
  - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する方
  - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する方
  - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する方
  - ⑤ グレートブリテン及び北アイルランド連合王国(イギリス)において大学入学資格として認められているGCEAレベル資格を有する方(必要なGCEAレベルにおける科目数・評価は入試課に照会すること)

上記(5)①「これに準ずる方で文部科学大臣の指定した方」に該当する方で、あらかじめ出願資格の有無を確認したい方は、以下のとおり申請してください。

- 申請対象者：次の各項目のいずれかに該当する方
  - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した方と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に合格し、2023年3月31日までに18歳に達する方
  - ② 外国において高等学校に対応する学校の課程を修了した方(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に合格した方を含む)で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、2023年3月31日までに18歳に達する方
  - ③ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した方
- 申請受付期間：2022年12月12日(月)まで
- 申請の詳細については、入試課まで照会してください。
  - ①・②に該当する検定に合格した方は、合格証明書及び成績証明書が必要です。
  - ②・③に該当する課程を修了した方は、修了(見込)証明書及び成績証明書が必要です。

\* 日本留学試験 本学が指定する科目・得点

表記	科目名	読・聴（読解、聴読解・聴解） 物（物理） 化（化学） 生（生物） 総（総合科目） 数（数学）
	科目要否	○（必須科目） △（選択科目）

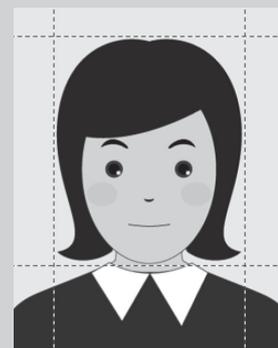
学部	課程・学科・コース		出題言語	日本語		理 科			総合科目	数 学	
				読・聴	記述	物理	化学	生物		コース1	コース2
教 育 学 部	学 校 教 育 課 程	幼小発達教育コース 障害児教育コース 言語教育コース 芸術身体教育コース	日本語	○	○	-	-	-	○	○	-
				合計得点が 240点 以上	30点 以上	・総得点が240点以上、各科目の得点が平均点以上					
		生活社会教育コース	日本語	○	○	△	△	△	△	△	-
	合計得点が 240点 以上			30点 以上	・【理・総・数】から2科目を選択 ・理科を選択する場合は、物・化・生から2科目選択 ・総得点が240点以上、各科目の得点が平均点以上						
	科学教育コース	日本語	○	○	△	△	△	-	-	○	
			合計得点が 240点 以上	30点 以上	・理科は物・化・生から2科目選択 ・総得点が240点以上、各科目の得点が平均点以上						
工 学 部	機 械 工 学 科 応 用 化 学 科 先 端 材 料 理 工 学 科	日本語	○	○	○	○	-	-	-	○	
			合計得点が 平均点の 9割以上	25点 以上	【理・数】総得点が各科目平均点の合計の9割以上						
			メカトロニクス工学科 電気電子工学科	日本語	○	○	○	△	△	-	-
	合計得点が 平均点の 9割以上	25点 以上			【理】物必須、化・生から1科目選択 【理・数】総得点が各科目平均点の合計の9割以上						
	コンピュータ理工学科 土木環境工学科	日本語	○	○	△	△	△	-	-	○	
			合計得点が 平均点の 9割以上	25点 以上	【理】物・化・生から2科目選択 【理・数】総得点が各科目平均点の合計の9割以上						
生 命 環 境 学 部	生 命 工 学 科	日本語	○	○	△	○	△	-	-	○	
			合計得点が 240点 以上	30点 以上	【理】化必須、物・生から1科目選択 【理・数】総得点が240点以上、各科目の得点が平均点以上						
			地 域 食 物 科 学 科 環 境 科 学 科	日本語	○	○	△	△	△	-	-
	合計得点が 240点 以上	30点 以上			【理】物・化・生から2科目選択 【理・数】総得点が240点以上、各科目の得点が平均点以上						
	地域社会システム学科	日本語	○	○	-	-	-	○	○	-	
			合計得点が 260点 以上	33点 以上	【総・数】総得点が260点以上、各科目の得点が平均点以上						

## 5. 出願手続

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 の全てを完了してください。いずれか1つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

### ① 事前準備（用意するもの）

- インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等
- PDFを開くためのアプリケーション（アドビ社の Adobe Reader を推奨）
- A4サイズの印刷が可能なプリンター  
自宅にプリンターがない場合は、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。
- 「@yamanashi.ac.jp」からの受信が可能なメールアドレス
- 出願期間前に準備できる出願書類
- 市販の角形2号封筒（24 cm × 33.2 cm）
- 顔写真のJPEGファイル（3ヶ月以内に撮影した正面上半身、脱帽、



（良い顔写真の例）

無背景、フルカラー、縦横比4：3、縦800px × 横600px以上、ファイルサイズ3MB以内のもの）

### ② メールアドレスの登録

Web 出願サイト（<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>）にアクセスし、「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにメールが届きますので、本文の案内に従い30分以内に次の手順に進んでください。



### ③ 利用者情報の登録（いつでも登録できます）

画面の案内に従って個人情報を常用漢字（JIS第1水準・第2水準）で登録してください。

出願から入学までの間、本学からの通知を志願者本人が確実に受信できる連絡先（メールアドレス、住所、電話番号等）を登録してください。出願後に変更が生じた場合は、速やかに入試課へ連絡してください。

### ④ 出願情報の登録（出願期間中のみ登録できます）

Web 出願サイト > マイページ > 新規出願から、画面の案内に従い登録してください。

### ⑤ 入学検定料の支払い

Web 出願サイト > マイページ > 検定料の支払いから、画面の案内に従いお支払いください。

### ⑥ 出願書類の提出

出願書類を作成・印刷し、原則、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で入試課へ郵送してください。

### ⑦ 出願の受理

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の発行通知をお待ちください。

#### \* 出願に関する留意事項

- 出願内容（Web 出願情報・出願書類等）に不備がある場合は受理しないことがあります。
- 出願内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- 出願受理後は、いかなる理由があっても出願内容の変更は認めません。
- 出願受理後は、いかなる理由があっても出願書類の返却はできません。

## (1) 出願期間

2022年12月26日（月）～2023年1月5日（木）16時30分【必着】

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 の全てを完了してください。いずれか1つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

## (2) 入学検定料の支払い

入学検定料：17,000円

- Web 出願サイトの「検定料の支払い」で、①～④から支払方法を選択しお支払いください。  
①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関 ATM(Pay-easy)、④ネットバンキング
- クレジットカード以外の支払方法は入金確認に2時間程度かかります。  
(入金が確認されないと次の出願書類の印刷に進むことができませんので注意してください。)
- 全ての支払方法において手数料は志願者負担になります。
- 海外からの支払方法はクレジットカードのみです。
- 出願受理後はいかなる理由があっても既納の入学検定料は返還できません。

## \* 入学検定料の免除

- 対象者……次の災害に被災された方に対し、入学検定料免除の特別措置を行います。  
東日本大震災、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨、平成30年北海道胆振東部地震、令和元年台風第15号及び第19号、令和2年4月以降に発生した災害救助法の適用となる災害
- 必要書類……ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>) を確認してください。
- 受付期間……出願期間開始日の1ヶ月前～出願期間開始日の前日
- 照会先……入試課 〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37 TEL：055-220-8046

## \* 入学検定料の返還

- 対象者……出願が受理されなかった方に限って、入学検定料を返還します。
- 請求方法……対象者に別途通知します。

## (3) 出願書類

## 出願書類一覧表

◎全員提出、○一部学科・コース等のみ提出、－提出不要

学部	卒業（見込）証明書及び成績証明書	日本留学試験受験票（写し）	TOEFL又はTOEIC成績証明書（写し）	履歴書	住民票（海外在住の方は旅券の写し）	活動実績報告書
教育	◎	◎	◎	◎	◎	○
工学	◎	◎	◎	◎	◎	-
生命	◎	◎	◎	◎	◎	-

## 出願期間中に提出する書類

☆の様式はホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) からダウンロードできます。

出願書類	摘 要 (原則 A4 サイズで提出すること)
卒業 (見込) 証明書 及び成績証明書 (原本)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出身学校長等が作成した、最終学歴 (高等学校等) の卒業 (見込) 証明書及び成績証明書の原本を提出すること</li> <li>・ 原本を提出できない場合 (卒業時に 1 通しか発行してもらえない場合等) は、証明書の写し及び原本を提出できない旨の理由書 (様式任意) を提出すること</li> <li>・ 英語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳 (様式任意) を添付すること</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 出願資格 (5) ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した方</li> <li>・ 最終卒業高等学校の卒業 (見込) 証明書及び成績証明書を提出すること</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 出願資格 (5) ② (国際バカロレア資格) により出願する方</li> <li>・ 国際バカロレア資格証明書及び成績証明書を提出すること</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 出願資格 (5) ③ (アビトゥア資格) により出願する方</li> <li>・ 一般的大学入学資格証明書及び成績証明書を提出すること</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 出願資格 (5) ④ (バカロレア資格) により出願する方</li> <li>・ バカロレア資格証明書及び成績証明書を提出すること</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 出願資格 (5) ⑤ (GCEA レベル資格) により出願する方</li> <li>・ 成績証明書を提出すること</li> </ul>
日本留学試験 受験票 (写し)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2022 年度日本留学試験 (第 1 回又は第 2 回) の受験票の写し</li> <li>・ 原本を提出した場合、原本は返却しないので注意すること</li> </ul>
TOEFL 又は TOEIC 成績証明書 (写し)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下記①～③のうち、いずれかの写しを提出すること</li> <li>① TOEFL-iBT Test Taker Score Report * (Special) Home Edition も可</li> <li>② The revised TOEFL Paper-delivered Test の Test Taker Score Report</li> <li>③ TOEIC Listening &amp; Reading 公式認定書 (Official Score Certificate 又は Official Score Report)</li> <li>・ 2021 年 1 月以降に受験したものかつ結果が出願時に提出できるものに限る</li> <li>・ 原本を提出した場合、原本は返却しないので注意すること</li> </ul>
☆活動実績報告書	<p>(芸術身体教育コース 体育実技 選択者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成要領に基づき、本学所定の様式により作成すること</li> </ul>
履 歴 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Web 出願サイト &gt; マイページ &gt; 出願書類印刷から印刷したもの</li> <li>・ 学歴は、小学校入学から高等学校卒業までを記入すること</li> <li>・ 日本語の学習歴は、日本語学校の学習歴を記入すること</li> </ul>
住 民 票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住居地の市区町村長が交付する在留資格及び在留期間が記載されたもの</li> <li>・ 出願時に海外在住の方は、旅券の写し (顔写真のページ) を提出すること</li> </ul>

## \* 出願書類の作成方法

- 作成方法は、自筆・パソコンを問いません。
- 自筆の場合は、ボールペン (消せるボールペンは不可) を使用し、楷書で記入の上、原本 (写しは不可) を提出してください。また、訂正する場合は、修正液等の使用や紙面の削り取りはせず、訂正する箇所に二本線を引き訂正印を押してください。
- 文字色は黒色とします。数字は原則算用数字を用いてください。

#### (4) 出願書類の提出方法

- ① Web 出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「出願書類等チェックリスト(提出不要)」で、出願書類が全て揃っているか最終確認してください。
- ② Web 出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「封筒貼付票」を市販の角形2号封筒に貼付の上、出願書類を封入してください。
- ③ 出願期間内に本学へ到着するよう、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で郵送してください。  
入 試 課 〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37 TEL:055-220-8046  
Admission Division, University of Yamanashi, 4-4-37 Takeda, Kofu, Yamanashi 400-8510, Japan

\* 海外在住の方に限り PDF ファイルでの提出を認めます。

- ① Web 出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「出願書類等チェックリスト(提出不要)」で、出願書類の PDF ファイルが全て揃っているか最終確認してください。
- ② 出願書類の PDF ファイルを入試課へ送信してください。  
(入 試 課 [nyushi@yamanashi.ac.jp](mailto:nyushi@yamanashi.ac.jp) TEL:+81-55-220-8046)
- ③ 入学後、本学登校初日から1週間以内【厳守】に出願書類の原本を提出してください。  
・教 育 学 部 教育学域支援課教務グループ窓口  
・工 学 部 工学域支援課教務グループ窓口  
・生命環境学部 生命環境学域支援課教務グループ窓口  
・受 付 時 間 平日(土日祝日を除く) 9:00～12:00・13:00～17:00
- ④ PDF ファイルに改ざん等の虚偽が発覚した場合、入学許可自体を取り消し、抹籍処分にする場合があります。

\* Web 出願の注意点 (よくある質問)

- ① 「氏名」は、日本語又は半角英字で入力してください。  
外国語等を使用せず、フルネームを入力してください。  
(例) ○ 張 又は Zhang  
× 张 (簡体字)
- ② 「フリガナ」はカタカナで入力してください。  
カタカナが分からない場合は、半角英字で入力してください。  
(例) チョウ 又は Zhang
- ③ 「氏名アルファベット」は半角英字で入力してください。  
(例) Zhang
- ④ 氏名や住所等が入力文字数を超える場合は、履歴書(出願書類)の空白部分に入力できなかった内容を加筆して提出してください。
- ⑤ 「日本国内での連絡先(志願者以外)」は、志願者本人が不在の場合、速やかに本人に連絡をとることができる方(日本語学校の先生、親族、友人等)の連絡先を入力してください。  
海外在住の方で、日本国内の連絡先が無い場合は、志願者の連絡先を入力してください。
- ⑥ 「出願資格(資格試験)」は、大学入学に必要な資格(国際バカロレア資格やアビトゥア資格等)を取得した場合、資格名称・取得年月を入力してください。
- ⑦ 「在留資格」は、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格を入力してください。  
海外在住者は「なし」と入力してください。

## 6. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

- ① 対象者  
病気・負傷や障がい等のある志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方  
(受験上の配慮を必要としない場合でも、修学上の配慮を必要とする方は必ず申請してください。)
- ② 相談方法  
受付期間に入試課に連絡の上、必要書類を提出してください。
- ③ 必要書類
  - 次の事項を記載した相談申請書(様式任意)

氏名、志望学部・学科等、選抜区分、学校名、受験上及び修学上の配慮を希望する事項・内容、高等学校等でとられていた特別措置、日常生活の状況、連絡先(住所・電話番号等)

  - 医師の診断書等(病気・負傷や障がい等の状況がわかる文書、写し可)
- ④ 受付期間  
出願期間開始日の前日まで
- ⑤ 照会先  
入試課 〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37 TEL:055-220-8046
- ⑥ 注意事項
  - 日常生活において使用している補聴器・松葉杖・車椅子等の使用を希望する方や、病気・負傷や障がい等によりマスクの着用が困難な方は、必ず申請してください。  
(マスクの着用については、25頁⑤を参照してください。)
  - 相談内容によっては対応に時間を要しますので、できるだけ早い時期に申請してください。
  - 必要に応じて、志願者又はその立場を代弁し得る関係者と面談を行う場合があります。
  - 受付期間以降に不慮の事故等により受験上及び修学上の配慮が必要となった場合や、申請後に出願又は受験を取り止める場合は、入試課へ連絡してください。

## 7. 受験票

本学からの受験票の送付はありません。

受験票は Web 出願サイトから印刷し、試験当日に必ず持参してください。

【印刷可能通知】出願期間終了日から選抜期日の一週間前までに通知

【印刷可能期間】通知の受信日～令和5年3月31日まで

【印刷方法】Web出願サイト>マイページ>受験票から印刷

- 上記期日までに Web 出願サイトから受験票の印刷が可能になった旨をメールで通知します。
- 上記期日を過ぎても受験票が印刷できない場合は、入試課へ照会してください。
- 受験票の印刷方法は、白色の A4 用紙、倍率 100%、カラー印刷とします。
- 受験票には、Web 出願サイトに登録された氏名を使用します。
- 受験票を紛失・汚損等した場合は、Web 出願サイトから再度印刷してください。

## 8. 選抜方法

### (1) 選抜方法の概要

学部	課程・学科・コース		大学共通テスト	個別学力検査	実技検査等				2段階選抜	備考
					実技	小論文	面接	その他		
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース	-	-	-	-	○	*1	-	
		障害児教育コース	-	-	-	-	○	*1	-	
		言語教育コース	-	-	-	-	○ <sup>*2</sup>	*1	-	
		生活社会教育コース	-	-	-	-	○	*1	-	
		科学教育コース	-	-	-	-	○	*1	-	
		芸術身体教育コース	-	-	○	-	○	*1	-	
工学部	機械工学科	-	-	-	-	○	*1	-	-	
	メカトロニクス工学科	-	-	-	-	○	*1	-		
	電気電子工学科	-	-	-	-	○	*1	-		
	コンピュータ理工学科	-	-	-	-	-	*1	-		
	土木環境工学科	-	-	-	-	○	*1	-		
	応用化学科	-	-	-	-	○	*1	-		
	先端材料理工学科	-	-	-	-	○	*1	-		
生命環境学部	生命工学科	-	-	-	-	○	*1	-		
	地域食物科学科	-	-	-	-	○	*1	-		
	環境科学科	-	-	-	-	○	*1	-		
	地域社会システム学科	-	-	-	-	○	*1	-		

\*1 日本留学試験、及び TOEFL 又は TOEIC の成績を利用する。

\*2 国語総合・現代文・古典の範囲に関する口述試験及び 100 語程度の英文の音読とその内容に関する口述試験を含む。

### (2) 選抜方法・合否判定基準

教育学部	日本留学試験、面接、実技検査（芸術身体教育コースのみ）、成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定します。なお、合格ライン上に総得点が同点の者がいる場合は、面接の得点が高い者を上位とします。
工学部	日本留学試験、面接（コンピュータ理工学科以外）、成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定します。ただし、面接（コンピュータ理工学科以外）・日本留学試験・TOEFL 又は TOEIC の評価が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
生命環境学部	日本留学試験、面接、成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定します。総得点が同点の場合は同順位とします。ただし、面接の評価が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。

## (3) 選抜期日・場所 及び 検査内容

## 教育学部

期日：2023年1月20日（金）

場所：山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市武田 4-4-37）

コース	集合時刻	集合場所	検査
幼小発達教育コース 障害児教育コース 言語教育コース 生活社会教育コース 科学教育コース	13:00	甲府西キャンパス J号館2階B会議室	面接
芸術身体教育コース	13:00	甲府西キャンパス J号館2階B会議室	実技・面接

\* 言語教育コースの面接は、国語総合・現代文・古典に関する口述試験及び英文（100語程度）音読とその内容に関する口述試験を含みます。  
\* 試験終了時刻は受験者数により変わります。

## \* 芸術身体教育コースの実技検査内容・注意事項

（実技検査の内容に関する問い合わせには応じられません。）

以下の音楽実技、美術実技、体育実技の中から、出願時にいずれか1つを選択すること。

検査	検査内容・注意事項
音楽実技	<p>下記のA～Dを全て受験すること。</p> <p>A 旋律聴音 1題（12 - 16小節）</p> <p>B 新曲視唱 1題（練習時間5分程度） ・移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。</p> <p>C 任意の声楽曲を1曲演奏（原語で歌うこと。）</p> <p>D 任意のピアノ曲を1曲演奏</p> <p>（注）・ピアノ伴奏が必要な場合は、伴奏譜を出願時に同封すること。 ・楽譜を見てもよい。繰り返しは省略すること。 ・演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでも良い。</p>
美術実技	<p>造形表現力の検査…形態、構成力などに関する考査を120分で行う。</p> <p>（注）鉛筆、消具など、鉛筆デッサン用具一式を持参すること。</p>
体育実技	<p>・活動実績報告書の提出をもって実技検査とする。</p>

## 工学部

期日：2023年1月21日（土）

場所：山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市武田 4-4-37）

コース	集合時刻	集合場所	検査
機械工学科 メカトロニクス工学科 電気電子工学科 土木環境工学科 応用化学科 先端材料理工学科	10:00	甲府東キャンパス A-2号館1階ロビー	面接
コンピュータ理工学科	—	—	(来学の必要はありません)

\*試験終了時刻は受験者数により変わります。

## 生命環境学部

期日：2023年1月21日（土）

場所：山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市武田 4-4-37）

コース	集合時刻	集合場所	検査
生命工学科 地域食物科学科 環境科学科 地域社会システム学科	10:00	甲府西キャンパス S1号館	面接

\*試験終了時刻は受験者数により変わります。

## 9. 受験上の注意

- (1) 試験当日は、本学受験票、日本留学試験の受験票（原本）、鉛筆又はシャープペンシル（芯はHB又はBの黒色に限る）、消しゴム、（鉛筆使用の場合は）鉛筆削りを必ず持参してください。
- (2) 課せられた試験を1つでも受験しなかった場合、受験した全試験の成績を無効とします。
- (3) 不正行為を行った場合、その場で受験の中止と退室を指示し、受験した全試験の成績を無効とします。
- (4) 受験票に表示された試験場以外では、いかなる理由があっても受験できません。
- (5) 遅刻した場合は、試験開始後（教育学部においては、集合時刻から）30分以内に限り受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。
- (6) 構内には駐車場がありませんので、自動車による入構はできません。電車・バス等の公共交通機関を利用してください。
- (7) 試験実施が困難になるような不測の事態（地震・大雪等）が発生した場合、ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/9604>）に対応措置等を掲載します。
- (8) 出願後から試験当日までに、連絡事項等をホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>）に掲載する場合がありますので、試験の前に必ず確認してください。

### \* 不正行為

- Web登録情報、出願書類、受験票、解答用紙等へ故意に虚偽の記入（Web出願サイトに本人以外の顔写真を登録すること、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入すること等）をすること
- 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること
- 試験時間中に携帯電話や時計等の音を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること
- 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
- 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
- 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと
- その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること

## 10. 合格者発表

2023年2月3日（金）16時頃

- ホームページ（[https://www.yamanashi.ac.jp/examination\\_list](https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list)）に合格者の受験番号を掲示します。
- 合格者に合格通知書（Web出願サイトに登録された氏名を使用）を発送します。  
なお、海外在住の方へは国際郵便で発送します。
- 大学構内での掲示は行いません。また、電話等による合否の照会には応じません。
- 本学では合否電報の受け付けは一切行っておりません。また、そういった行為を団体・個人に委託することはありません。合否電報に関するトラブル等が発生しても本学では責任を負いません。

## 11. 入学手続

2023年2月15日（水）～2023年2月20日（月）

- 期間内に入学手続を完了しなかった方は、入学の意志がなく入学を辞退したものとみなします。
- 入学手続関係書類は、合格通知書とともに発送します。
- 入学時の主な必要経費は次のとおりです。なお、金額は変更することがあります。
  - ・ 入学金 282,000円【予定】
  - ・ 授業料 年額 535,800円（前期 267,900円・後期 267,900円）【予定】
  - ・ 後援会費・同窓会費・学友会費等
  - 教育学部 64,000円（後援会費・同窓会費・学友会費等、4年分）【予定】
  - 工学部 50,000円（後援会費・同窓会費・学友会費等、4年分）【予定】
  - 生命環境学部 48,000円（後援会費・同窓会費・学友会費等、4年分）【予定】
  - ・ 学生保険保険料（学生保険への全員加入を本学の方針としています）
- 入学科・授業料の免除又は徴収猶予については、ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/campuslife/345>) を参照してください。
- 入学手続後、他大学の合格などにより4月に本学へ入学する意志のない方は、期日までに入学辞退手続をしてください。入学辞退手続をしなかった場合、本学に在籍している状態になるため、授業を受講しなくても4月からの授業料の支払い義務が生じます。詳細は、入学手続関係書類を確認してください。

## 12. 個人情報の取扱い

「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「山梨大学個人情報保護規則」に基づき、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤今後の入学者選抜方法検討や志願動向の分析、大学教育の改善に関する調査・研究を行うために利用します。なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。
- (2) 入学者については、知り得た個人情報を、①教務関係（学籍・修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 上記業務の利用にあたり、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（受託業者）において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、受託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
- (4) 個人情報及びプライバシー情報保護のため、選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行わないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することはありません。

## 13. 安全保障輸出管理

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人山梨大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育を受けられない場合や研究ができない場合があります。

## 14. 入学試験における感染症対応

入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘等）に罹患して治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので、万全の態勢で試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。

ただし、令和5年度入試については、特例措置として新型コロナウイルス感染症の罹患者等に対する追試験を次のとおり実施します。（別段の記載がない限り、日付は2023年とします。）

学 部	追試験期日	選抜方法	合格者発表	入学手続
教育	1月30日(月)	本試験と同様	本試験と同様	本試験と同様
工学	来学不要	*	本試験と同様	本試験と同様
生命	来学不要	*	本試験と同様	本試験と同様

\* 日本留学試験、成績証明書、TOEFL又はTOEICの成績を総合して判定します。

### 新型コロナウイルス感染症の罹患者等に対する追試験

#### ① 対象者

次の理由により本試験を受験しなかった方のうち、指定する期限までに申請を完了し、追試験の受験を許可された方とします。なお、試験開始後の発病等については、追試験の対象とはしません。

- (1) 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方
- (2) 試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方

\* 発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者は、受験条件（受験生に対する要請事項③）を全て満たす場合、本試験の受験（別室受験）を認めます。本試験の受験を希望する場合は、事前に入試課へ電話連絡の上、本試験前日の10時【必着】までに濃厚接触者本試験受験申請書を代理人による持参、郵送、FAX又はメールにより提出してください。

- (3) 海外から日本に入国して受験する場合に、入国後の待機期間中の方
- (4) 発熱・咳等の症状があり、本試験当日の自己検温で37.5度以上の熱があり、医療機関を受診して診断書等を提出できる方

#### ② 申請期限及び申請方法

本試験当日の10時【必着】までに入試課へ電話連絡の上、本試験当日の17時【必着】までに追試験受験申請書及び診断書等（治療期間が明記されたもの）を代理人による持参、郵送、FAX又はメールにより提出してください。提出書類の内容を確認の上、申請結果を回答します。なお、診断書をFAX又はメールで提出した方は、追試験の前日までに原本を必ず郵送により提出してください。

入 試 課 〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37

TEL : 055-220-8046 FAX : 055-220-8795 メール : [nyushi@yamanashi.ac.jp](mailto:nyushi@yamanashi.ac.jp)

#### ③ 留意事項

- (1) 追試験は、新型コロナウイルス感染症の罹患者等でやむを得ず受験できなかった受験者に対する受験機会確保のための措置であることから、必ずしも追試験受験者の中から合格者を出すというものではありません。
- (2) 虚偽の申請が認められた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- (3) 追試験の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。
- (4) 追試験の対象者については、今後政府等関係機関の方針を受けて変更になる場合があります。その際はホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) でお知らせします。

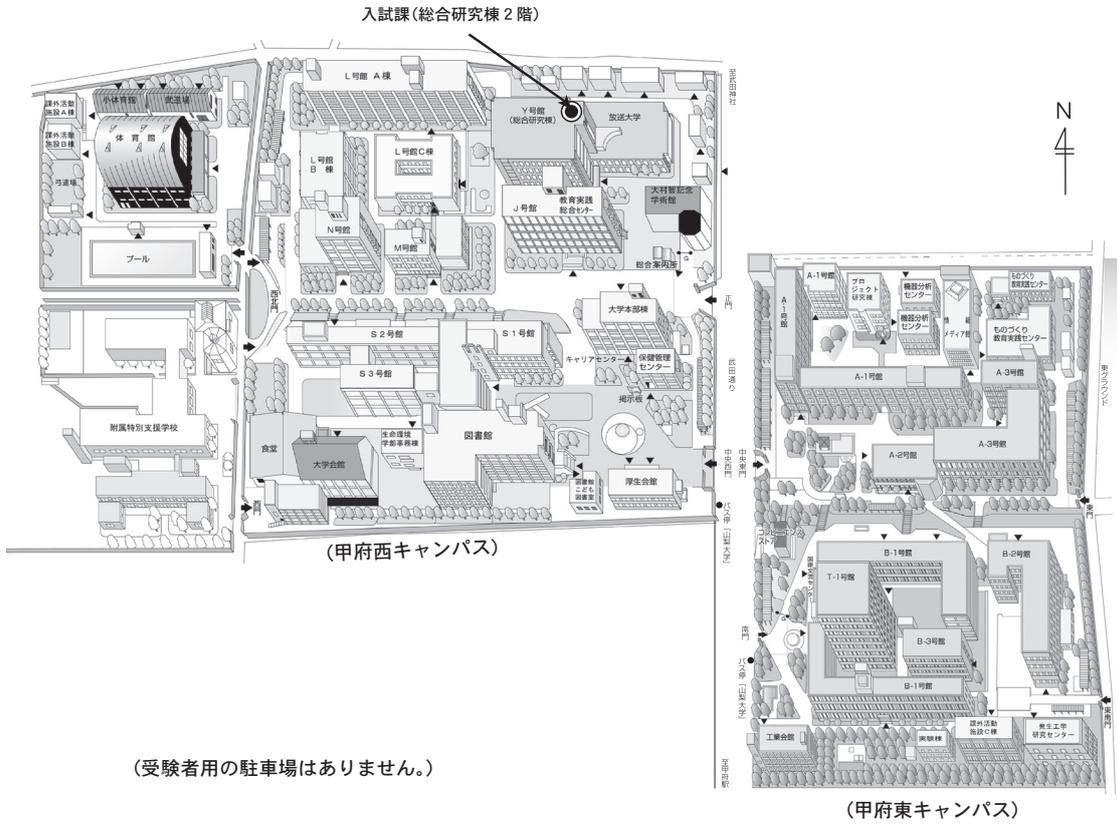
## 受験生に対する要請事項

- ① 感染防止のための注意事項  
日頃から感染防止について心がけ、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。
- ② 医療機関での受診  
試験日の1週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験生はあらかじめ医療機関を受診してください。
- ③ 受験できない方  
新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方は受験できません。ただし、発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者のうち、次の条件全てに該当する場合は、本試験の受験(別室受験)を認めます。
  - (1) 初期スクリーニング(自治体によるPCR検査及び検疫所における抗原定量検査)の結果、陰性であること(結果が判明するまでは本試験を受験できません。追試験を申請・受験してください。)
  - (2) 試験当日も無症状であること
  - (3) 公共の交通機関(電車、バス、タクシー、航空機(国内線)、旅客船等)を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に來られること(海外から日本に入国して受験する場合、受験生は防疫対策として要請される事項に基づき行動することから、入国後に待機を要請される場合は、その期間は受験できないため、待機期間の有無を確認の上、余裕を持って入国すること)
- ④ 受験の取り止め  
試験日の前から継続して発熱・咳等の症状のある受験生は、追試験を申請・受験してください。
- ⑤ 試験当日における対応  
試験当日に息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい受験生が発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合の他、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合は、試験当日における対応等について、かかりつけ医や受診・相談センター(地域により名称が異なる)に相談するとともに、追試験を申請・受験してください。また、上記に該当しないものの、発熱や咳等の症状のある受験生は、その旨を試験監督者等に申し出てください。症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験場では、昼食時以外は常に着用してください。休憩時間や昼食時、入退場時等における他者との接触、会話を極力控えてください。
- ⑥ 試験当日の服装・昼食  
試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参してください。また、試験場で食堂(大学会館・厚生会館)の営業等を行わないため、昼食を持参し、自席で黙食してください。また、食事を取り終えた後は、速やかにマスクを着用してください。
- ⑦ 予防接種  
他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことが望まれます。
- ⑧ 「新しい生活様式」等の実践  
日頃から、「三つの密」の回避や、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの手指衛生、換気をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。
- ⑨ 受験生以外の方の入構について  
感染防止の観点から受験生以外の方は入構できません。また、付添人等の控室も設置しません。

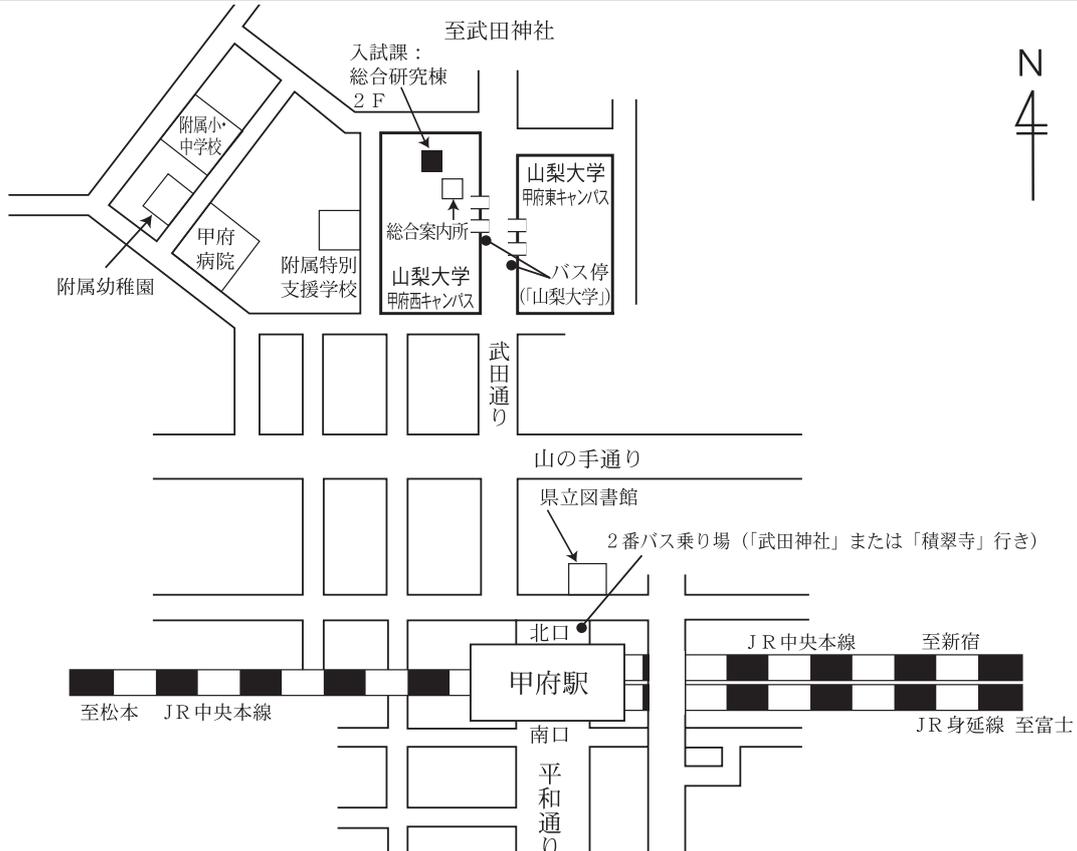
# 15. 甲府キャンパス案内図

所在地 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37

## 甲府キャンパス建物配置図



## 甲府キャンパス周辺図



## 活動実績報告書 作成要領

活動実績報告書は、教育学部の学校教育課程芸術身体教育コースの体育実技を選択する方の実技検査として使用するものです。スポーツ・体育活動歴の有無にかかわらず、志願する方全員が必ず提出してください。

1. 「主な種目名・活動実績名等」欄は、主となる種目名・活動実績名を1つだけ記入してください。
2. 「参加大会名等」欄には、これまで出場した大会の中で、主要な実績の正式名称を記入してください（4つ以内）。
3. 「開催地・開催年月」欄には、活動を行った場所・開催年月を記入してください。
4. 「成績・記録・参加状況等」欄には、順位等の成績をできるだけ具体的に記入してください。  
（「優勝」、「ベスト8」、「2回戦敗退（ベスト32）」、「奨励賞受賞」など）
5. 「学年」欄には、該当する学年を記入してください。（「小学校6年」、「高校1年」など）
6. 「本人が果たした役割」欄は、ポジション、役割、貢献度（大会等の出場実態：スターティングメンバー、途中交代、リザーブで出場なし等）についてできるだけ具体的に記入してください。
7. 「その他」欄は、特筆すべき活動実績がある場合に記入してください。
8. 受験番号欄は、大学側で記入します。
9. 活動実績がない場合は、「その他」欄に「活動実績なし」と記入の上、本報告書を提出してください。  
この場合、原則として活動実績の検査ができませんので注意してください。
10. 自筆、パソコン入力を問いません。文字色は黒とします。



(教育学部 私費外国人留学生入試)

受験番号  
※大学側で記入します。

教育学部学校教育課程 芸術身体教育コースの体育実技を選択する方

## 活動実績報告書

フリガナ		生年月日	
氏名		年 月 日	
身長	cm	体重	kg

主な種目名・活動実績名等					
参加大会名等		開催地・開催年月	成績・記録・参加状況等	学年	本人が果たした役割
1		( 年 月 )		年	
2		( 年 月 )		年	
3		( 年 月 )		年	
4		( 年 月 )		年	
その他					



受験番号

### 濃厚接触者本試験受験申請書 兼 追試験受験申請書

申請日 年 月 日

氏名

- 私は、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされましたが、受験条件（『募集要項「受験生に対する要請事項③」』）を全て満たしますので、本試験の受験（別室受験）を申請します。
- 私は、次の理由により本試験を受験できませんので、追試験の受験を申請します。
  - 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中
  - 試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた
  - 海外から日本に入国して受験する場合に、入国後の待機期間中
  - 試験当日に息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある
  - 基礎疾患等により重症化しやすい受験生で、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある
  - 発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続いている
  - その他、特別の理由（ )

記

選 抜 区 分	<input type="checkbox"/> 一般選抜 前期日程	志 望 学 部	<input type="checkbox"/> 教育学部
	<input type="checkbox"/> 一般選抜 後期日程		<input type="checkbox"/> 医学部
	<input type="checkbox"/> 学校推薦型選抜 I		<input type="checkbox"/> 工学部
	<input type="checkbox"/> 学校推薦型選抜 II		<input type="checkbox"/> 生命環境学部
	<input type="checkbox"/> 総合型選抜 I	志 望 学 科 等	学 科 コ ー ス プ ロ グ ラ ム
	<input type="checkbox"/> 総合型選抜 II		
<input type="checkbox"/> 私費外国人留学生入試			
住 所	(〒 - )		
電 話 番 号			
メ - ル			
代 理 人	代理人が提出する場合のみ記入してください。 (氏名) (続柄)		

保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方のみ記入してください。

濃厚接触者に該当すると判断した保健所等の名称	
保健所から濃厚接触者に該当すると連絡のあった日	年 月 日
保健所から健康観察期間として 不要不急の外出を控えるよう指示されている期間	年 月 日 から 年 月 日 まで
保健所による PCR 検査の結果 又は 検疫所による抗原定量検査の結果	<input type="checkbox"/> 陽性 / <input type="checkbox"/> 陰性



## 問い合わせ

### 山梨大学 教学支援部 入試課

住所	〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37
TEL / FAX	055-220-8046 / 055-220-8795
メール	<a href="mailto:nyushi@yamanashi.ac.jp">nyushi@yamanashi.ac.jp</a>
ホームページ	<a href="https://www.yamanashi.ac.jp">https://www.yamanashi.ac.jp</a>
Web 出願サイト	<a href="https://syutugan.yamanashi.ac.jp">https://syutugan.yamanashi.ac.jp</a>
窓口対応時間	平日(月～金) 9:00～12:00・13:00～17:00 *土・日・祝日、年末年始(12/29～1/3)を除く